



釧路町

ふれあいネットワーク

2022年 1月1日

No.204

社協だより

発行

社会福祉法人
釧路町社会福祉協議会

本年もよろしくお願い申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、昨年までのコロナ禍の影響がまだ残る中ですが、清々しい新年をお迎えしたことと思います。

また、日頃より社協会費、共同募金をはじめ本会の活動に対しまして、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

少子高齢化の進行、コロナ禍による交流活動の自粛等により、地域住民同士の支え合う力が低下し、価値観や生活スタイルの多様化、経済活動の低迷により、町民の抱える課題も複雑化し、変化しております。このような中で改めて、お互いに助け合い、支え合うコミュニティの重要性を強く感じられました。

本協議会といたしましては、「住み慣れた地域で、誰もが安全で安心して暮らし続けることができる地域社会」を目指し、関係機関と協力しながら、子育て支援、高齢者支援、生活困窮者支援等の各種事業に取組み、住民支え合い活動により一層力を入れると共に地域における強い福祉コミュニティの構築に向け、皆様のご支援を賜りながら、本年も様々な地域福祉活動を展開して参ります。必要とされる社協を目指し、事業を推進して参りますので、町民の皆さまのご指導、ご協力をお願いいたします。

町民皆さまの益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年の挨拶といたします。



令和4年1月

社会福祉法人釧路町社会福祉協議会

会長 中田 妙子



永年に亘り社会福祉協議会評議員を務められた。
新濱 みよさん
(右)



永年に亘り社会福祉協議会評議員を務められた。
村山 聡志さん
(右)



永年に亘り社会福祉協議会理事を務められた。
中野 興東さん
(左)

社会福祉協議会の理事・評議員として、永年に亘りご尽力頂いた皆さまに表彰状を贈呈致しました。皆さまには、引き続き社会福祉協議会にご協力下さいますようお願い申し上げます。

社会福祉協議会から 表彰状贈呈

遠矢小学校・別保小学校福祉体験学習実施

遠矢小学校

10月12日（火）に遠矢小学校4年生に福祉体験学習を実施しました。体験学習の内容は「車椅子体験」「高齢者疑似体験」「視覚障がい体験」の3科目で実施しました。

【参加した生徒の感想】

- ・障害のある人と指示したり見守ったりする人がとっても大変だと思った。
- ・おうちの中の生活が大変だと思った。目の見えない人は特に大変だと思った。
- ・高齢者の大変な気持ちが分かった。
- ・視覚障がい者体験では、みんなに支えられてゴールしたけど、それが一人だとしたら大変だと思った。
- ・サポートする人は相手の人をもってサポートすることが大切だと知った。
- ・障害のある人と健常者で普段の生活でどのような違いがあるのか調べたくなり、学び became した。また、話してみたくになった。



11月2日（火）は、福祉体験学習の続きとして障がい者就労支援施設馬木葉クラブ見学を実施したので、社協職員と一緒に参加させていただきました。

まず施設内では、革製品を作っている様子などを見学しました。この中では、馬木葉クラブがどのように運営されているのか等の話がありました。その後、外の動物のお世話をしている様子を見学したあと、施設長の古田壮利さんより質疑応答の時間があり、生徒が考えてきた質問に丁寧に回答されていました。

授業終了後、古田さんより「小学生の間にこのような福祉関係とふれあう（学ぶ）機会はないと思うし特に障がい福祉の分野は機会が少ないと思う。今後の学びの中の1つになってもうえれば嬉しいです」と話されていました。



別保小学校

10月15日（金）に別保小学校において4年生が福祉体験学習として「点字体験」「手話体験」を実施しました。授業実施にあたり、釧路町手話の会の皆さまと点訳奉仕はなかり会の皆さまにご協力をいただきました。

手話の授業では、手話を使って自分の名前を伝えたり、挨拶の仕方などを習ったあと、サザエさんの曲に合わせて手話のコーラスを行いました。短時間でしたが、生徒の皆さんは自分の名前の伝え方を覚えて表現できるようになっていました。

また、点字の授業では、点字の読み方を学んだあと、簡易点字器を使って自分の名前を点字で書く体験をしました。自分の名前を打つてみて実際に読んでみる体験をし、打つときは逆さにする必要があることや、それを読むことにも夢中になって取り組んでいました。



簡易点字器

厚紙（点字用紙）を裏から針（点筆）で押すことで点字を打つことができます。



子育てサポートセンター からのお知らせ

子育てサポートセンター視察

11月4日(木)・5日(金)の2日間で、網走市社会福祉協議会と別海町役場を視察に行っていました。

釧路町では行っていない内容や、事業、そして様々な意見を頂き、これからの釧路町子育てサポートセンターに反映させていけたらと思います。

網走市社会福祉協議会様、別海町役場様、本当にありがとうございました。

会員募集のお知らせ

釧路町子育てサポートセンターでは会員を募集しております。

お子さんを預かってほしいという依頼会員、お子さんを預かりたい・送迎してあげられる提供会員、依頼会員と提供会員の両方を兼ねることが出来る両方会員の3つの会員の種類があります。

依頼会員は、短時間の預かりや買い物の間の預かりでも利用できます。

提供会員は、預かりだけではなく、送迎を行うだけのサポートもあります。

少しでも興味のある方はお気軽に釧路町子育てサポートセンターにお問合せください。

【問合せ先】

釧路町子育てサポートセンター
☎40-5220 担当・川原田



釧路町介護支援ボランティア 活動事業事前説明会開催!!

釧路町在住で65歳以上の高齢者の方がボランティア活動を通じて地域貢献や社会活動に参加することで、活躍する場の創出や生きがいある暮らしを送っていただくことを目的として、釧路町介護支援ボランティア事業を行っています。

この事業では、研修会受講後、ボランティア登録して、町内の介護保険施設や介護予防サロンなどでボランティア活動を行うと手帳にポイントが貯まる仕組みになっており、貯まったポイントは1年間で最高5,000円の交付金と交換することができます。ボランティア活動は、自分に無理なくできることから始められるとても身近な活動です。ボランティアに参加してみませんか？

○対象 釧路町に在住する65歳以上の方
○研修会 令和4年2月22日(火)10時00分

釧路町保健福祉センターあいばーる
2階会議室

○持ち物 筆記用具、印鑑

※少しでもボランティア活動に興味のある方はお気軽に説明会だけでも参加ください！

【問合せ先】

☎40-5220
担当・中田・澤田



愛国小学校防災学習協力

11月25日(木)に実施された愛国小学校の防災学習授業に協力してきました。

今回の授業では、S-I-Gチャレンジ(シエルター・イマジネーション・ゲーム・チャレンジ)という避難所運営ゲームを実施しました。このゲームは、地震が発生して近隣住民等が愛国小学校に避難してきた想定で、避難者や物資をどのように配置するかを相談しながら決めていきました。

生徒の皆さんは、避難してきた住民より学校の中を把握しているので、中心となって配置するように意識しながら積極的に取り組んでいました。

S-I-Gチャレンジ終了後は、ARを活用した津波体験をしました。津波がきたらどのような状況になるのかを実際に体育館の中に水が入ってきて沈んでいく映像を見ながら、津波の怖さを体験しました。

今後も防災の意識を忘れずに活動していきたいと社協職員も一緒に学んできました。



釧路町共同募金委員会

赤い羽根共同募金街頭募金 ご協力ありがとうございました！

10月1日(金)～10月4日(月)までの4日間で街頭募金を実施しました。本年も新型コロナウイルス感染症対策のため、CD音声による募金の呼び掛け等の工夫をしながらの活動となりました。

コロナ禍での実施にも関わらず、多くの奉仕者に支えられ無事に募金活動を終了することができました。募金合計額は約18万円となりました。

○協力施設

ロ・バザール(別保公園)

フクハラ桂木店

トライアル別保店

ダイソーアオヤマ釧路睦店

○協力団体

釧路町更生保護女性会、元気サロン双河辺、釧路温原ライオンズクラブ、釧路町赤十字奉仕団、釧路地区保護司会釧路町分区分、釧路町富宣会、はっぴーサロンとよみどんぐりの森歩こう会、いきいきサロンどんぐり、日の出サロン、釧路町在宅介護支援ふきのとうの会、釧路町手話の会

(老人クラブ) 東陽会、緑絆の会、雁来元気の会、桜寿会、恵寿会、寧寿会、曙会
シルバーどんぐりクラブ、遠矢南寿会、福寿会、寿楽会



表彰状伝達

釧路町共同募金委員会監事の新濱みよさんが永年に亘り務め、釧路町の福祉の推進のため、共同募金運動に貢献された功績が認められ、社会福祉法人北海道共同募金会会長表彰を受けました。

当会の役員は会の運営をするとともに、法人募金を1件1件募金依頼に行く業務も実施しております。

町内の福祉活動の推進のため、毎年ご活躍いただいています。



釧路南ロータリークラブ・ 釧路町赤十字奉仕団 寄付

赤い羽根募金として各団体からご寄付がありました。

- ・11月4日(木) 釧路南ロータリークラブ様(上)
- ・11月16日(火) 釧路生命保険協会様(中)
- ・11月30日(火) 釧路町赤十字奉仕団様(下)



老連安藤理事表彰

令和3年度北海道老人クラブ功労者に東陽会安藤会長が選ばれ、この度表彰状が贈られました。安藤会長は平成23年から釧路町老人クラブ連合会理事として、令和2年からは釧路町老人クラブ連合会監事として運営・指導に尽力され、その功績が認められたものです。

表彰状は釧路町老人クラブ連合会下越田会長より授与されました。

今後ますますのご活躍が期待されております。



老連社会奉仕の日

「社会奉仕の日」は、現在9月20日を中心に全国各地の老人クラブで取り組まれています。この運動は、昭和61年には全国三大運動の一つとして取り組むことを決定し、今日に至っています。現在は、「老人の・老人週間」の期間中積極的に、「健康・友愛・奉仕」の三大運動を展開して、健康づくりと社会参加への高齢者の意欲と姿勢を示そうと呼びかけています。釧路町では、7単位クラブ、述べ189名の老人クラブ会員が、清掃活動・緑化活動・子どもの登下校の見守り活動等を実施しました。コロナ禍の中、ほとんどの行事が実施できない中、ボランティア活動に汗を流しました。

ボランティア連絡協議会 小地域サミット参加

釧路町ボランティア連絡協議会の研修として10月22・23日（金・土）に開催された「第14回全国校区・小地域福祉活動サミットin北海道」に参加しました。

この研修の中では、「コロナ禍での地域活動」、「子ども食堂の展開」、「福祉教育」、「住民が主体となる生活支援」等の内容で各市町村の工夫していることを学びました。

コロナ禍により、サロンの活動が出来ない分、利用者の安否確認に定期的に回るなどの、繋がりを絶やさない取組があり、今後の参考になる情報がありました。

犯罪被害者週間啓発 プロジェクト協力

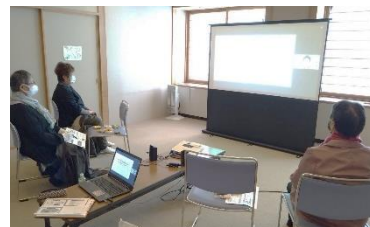
11月29・30日（月・火）にイオン釧路店で開催された犯罪被害者週間啓発プロジェクトの「STAND & STAND Story」写真展」にきずなネットワークと釧路町女性連絡協議会の皆さんとボランティア協力に行っていました。

この写真展は「犯罪被害者サポート・ケア エシカルプラス」が主催の性犯罪の被害に遭われた方の経験等を記録した写真展で、多くの来場者が写真をご覧になっていました。ボランティア活動としては、ボランティアの皆さんと社協職員で、写真の見守りとチャリティーの物品販売を行いました。

ライフサポートえぞふくろう ボランティア募集

ライフサポートえぞふくろうでボランティアを募集しています。

この団体は有償のボランティア活動を行っており、利用者を病院等へ送迎したり、家事のお手伝い等を行っています。特に現在は、送迎の依頼が多く来ています。活動すると報酬も出る仕組みになっております。ご興味のある方は担当までお問合せください。



善意の真心をありがとうございます。

令和3年9月1日～11月30日

寄附金・プルタブ・古切手・清拭用布等をお寄せいただいた方々は次のとおりです。(順不同)

【寄附金】(社会福祉活動のために使用してください。)

釧路陵墓公苑 様 12,000円

高齢者大学書道サークル同 11,343円

釧路町赤十字団 様 10,000円

匿名 1,000円

【寄附物品/団体】

北都桜寿会 様 アイ・ウィル会 様

東陽ニウカムボール 様

若葉町内シニアクラブわかば会 様

明作電設工業 様 サロンツルの会 様

はっぴーサロンとよみ 様

放課後等デイサービスだいいち 様

土井木材 様 昆布森郵便局 様

明治安田生命釧路支社 様

【寄附物品/個人】

杉山 悦子 様 渡部 徹 様 金山 啓子 様 天野 宗夫 様 佐藤 様

佐野 紀嘉 様 匿名 20名

主な行事予定(1月～3月)

- 1月19日(水)【釧路町コミュニティセンター】
釧路町老人クラブ連合会第2回理事会
- 1月21日(金)【釧路市】
釧路地区社協役員研修
- 1月27日(木)【釧路町保健福祉センター】
釧路町社会福祉協議会第3回監査
- 1月31日(月)・2月1日(火)【釧路町保健福祉センター】
釧路町子育てサポートセンター事業説明・講習会
- 2月9日(水)【釧路市生涯学習センター】
第3回釧路地区ボランティア活動推進会議
釧路地区ボランティアリーダー研修会
- 2月22日(火)【釧路町保健福祉センター】
釧路町介護支援ボランティア事業事前研修会
- 2月25日(金)【釧路市】
釧路地区社協職員連絡協議会第3回役員会
釧路地区社協職員研修会
- 3月10日(木)【釧路市】
釧路地区社協事務局長会議

ヘルパー募集

釧路町社会福祉協議会ではホームヘルパー2級以上の資格を持ち、自家用車で、利用者宅への訪問ができる方を募集しています。利用者及びそのご家族を第一に考え、現在9名のヘルパーが業務に携わっております。

提供の内容は、サービス提供責任者が同行訪問でお教え致します。お気軽にご連絡ください。

募集人数 若干名

雇用期間 令和4年3月31日まで(継続あり)

申込方法 履歴書と資格証明書の写しを送付してください。

*詳細については、

釧路町社会福祉協議会(担当・中田・幸坂)まで



桜寿会プルタブ寄付

老人クラブ桜寿会からプルタブの寄付がありました。

皆さまから寄せられたプルタブは分別された後、回収している団体へ送られます。送った実績に応じて車椅子等と交換出来る仕組みになっており、町民への貸出用として活用されていきます。今後皆さまからのご寄付をお待ちしております。



社協だより

2022. 1 / No. 204

【作成・編集】

澤田 滴 川原田 裕未

高田 孔平 中田 雅夫

社会福祉法人

釧路町社会福祉協議会

〒088-0628

釧路町東陽大通西1丁目1番地1

あいぱーる内

TEL 0154-40-5220

FAX 0154-40-5255

URL

<http://www.shakyo.or.jp/hp/170/>

ご意見ご感想をお寄せ下さい。